

月次レポートもこれで5本目となるが、レイアウトを変更してみた。より読みやすくなるよう工夫していきたい。

今月のテーマだが「勉強（課題）」と「治安」について質問をもらったので、渡墨4か月の印象を綴りたい。

「治安」

今のところ筆者はメキシコで危険な目にあったことはない。メキシコシティは勿論、旅行先及び移動中も、である。だが、日墨生にはすでに被害に遭っているメンバーも何人かいる。

メトロバス乗車中、男四人組に囲まれ携帯（iPhone）を盗まれた、ポシェットを鋭利な刃物で切られ財布を盗まれた、などである。また間接的な話ではあるが、陸路移動中にバスが止まり「盗賊が出たため」急遽ルート変更になり、予定よりも時間がかかったという話もあった。各地方が危険というわけではなく、このように地方に向かうための陸路が危ない場合が多いため、空路での移動が推奨されている。ただし、メキシコシティの空港の周りの治安もそれほどよくないため、注意は必要だ。

メキシコの治安の恐ろしい点は、時間帯があまり関係ないことである。夕方4時（まだまだ明るい時間帯である）に人目のつく場所で誘拐（身代金目的）が起こることもあるそうだ。もちろん、日中に行動するに越したことはないが、肌で危険を感じ取られるようになるまでは、個人での安直な行動は避けたい。

移動手段はUberが一番安全と思われがちだが、今はUberのドライバーアカウント

がTepitoで売り買いされている時代らしい。ドライバーの情報をしっかり確認し、危険を感じたら飛び降りる覚悟でUberも利用する必要がある。

メキシコの治安の悪い地域、というのは「この辺一带」といったおおざっぱなくくりでなく「このこのここ」といったピンポイントなエリアになっていることが多い。中でも特別有名なのはTepitoだろうか。超観光スポットであるソカロから徒歩15分ぐらいいしか離れていないところにあるため、ソカロ周辺の散策には注意が必要である。知らない間にいつの間にかTepitoに行ってしまったということも少なくないそうだ。TepitoにはUberの際に先述した市場があり、様々な盗難品が売り買いされ、特に携帯



↑ Mercado de la Merced のバナナ専門店

↓ Mercado Sonora は Merced のすぐ近くの怪しい市場。取り扱っているのは呪術関連グッズとか。



は破格と聞く。足を踏み込んでしまった友人いわく「やばい」の一言に尽きるようだ。とにかく雰囲気もうすっかり違うらしい。

他には Mercado de la Merced もここ数年、毎年の如く邦人の首絞め強盗事件が起きているので注意が必要である。筆者は知らずに10月に訪れたが、UNAMの友人に「よく無事に帰って来れたね、、、？」とまで言われた。雑然とした市場であり、特段行くような理由もない。2019年12月に大規模な火災が起きたため、現在どのような様相になっているのかはわからない。ピンクのメトロ一番線の Merced 駅から市場まで直結だが、一番線の駅周辺は総じて治安が悪いらしい。

Iztapalapa、メキシコの人に「行っちゃダメ」と口を酸っぱくして言われる地域。Merced も Tepito も局地的なエリアだが、Iztapalapa はそれなりに広いエリアである。訳あって筆者は週2のペースで訪れているが、今のところ怖い目に遭ったことはない。幼稚園や中学校なども多く、日中は中学生だけで歩いている姿も見られ、問題なさそうに見える。ただし「日没後は絶対に出歩くな」と釘を刺された地域である。

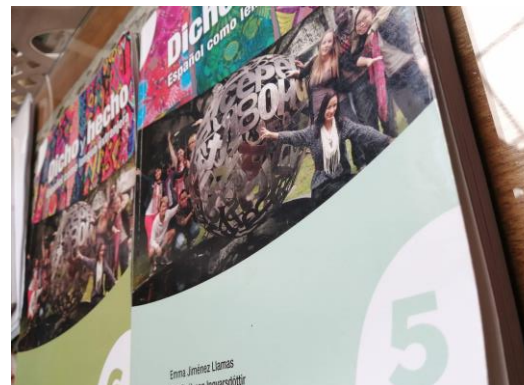
「勉強（課題）」

CEPE の課題は、大抵大したことはないがやはり先生に因るため一概には言えない。Nivel 6 の Maria Carmen 先生のクラスの生徒は「毎日の課題が重い」と悲鳴を上げていたが、自分自身、Nivel 5 の時は、大して課題という課題は出されず、出されても30分程度で終わるようなものばかりだった。Nivel 6 では、毎週 A4 一枚の作文（行間 2.0 でざっと 350 文字）の提出課題があったが、

毎回テーマが明確であったこともあり、そこまで負担だった印象はない。ただ、授業中の読み物や追加の配布プリント、また Español 以外のクラスも読み物やプリントがあるので、予習と復習をしっかりと行いたい性分の方は、取る授業によってはかなりの学習時間を取られるだろう。

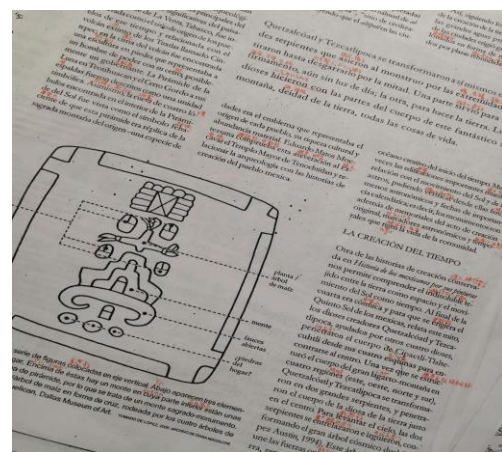
学部の授業の話をする、課題は正直あげつない。「次の授業までに読んできてね」と論文一冊ポンと投げられる、勿論すべてスペイン語である。英語はまずない。

論文中の特定の章だけの時も多いが、そ



↑ CEPE の教科書、ページ数は 250 ほど。重い。

↓ CEPE の文化クラスのプリント (Nivel 5 の Historia)。雑誌をコピーしたもの。難しい。



れでも 40p ぐらいはある。たまに概要が英語で書いてある論文に出遭うと救われた気分になる。筆者にはそのすべてをしっかりと読みこなすという能力はないので、適当に日本語で似たような文献を探したり、概要だけ丁寧に読んだりしている。すべて精読しようとしたらたぶん死んでしまうと思う。

学部の授業で取り扱う文献は大抵インターネット上のクラウドで管理されており、自由にダウンロード&印刷することができる。そのため、筆者はよく CEPE の CAD で印刷を行ってから、読解作業に移っている。

文献による予習課題のほかに、たまにレポート課題が課される。授業に因るが学期で 1~3 回ほどだろうか。A4 一枚の自由記述だったりすれば、A4 三枚でテーマ固定の設問に答える形式だったりもする。A4 一枚（行間 1.5）で大体字数は 400 程度だろうか。メキシコ留学中の日本の友人の中には、期末レポートで 10 枚以上したための猛者

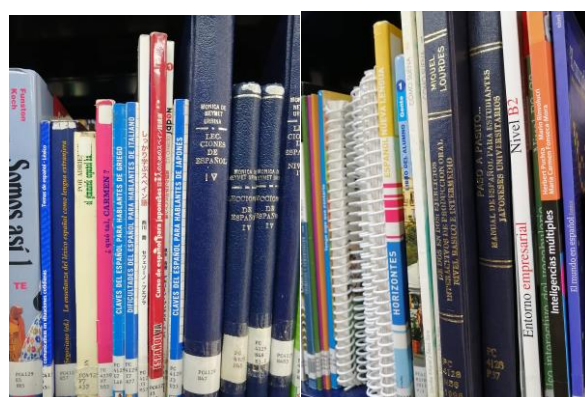
もいる。授業の評価方法はレポートによるものが多いだろうが、中には口頭試験、筆記試験、そのどちらも行う授業も存在する。

「最後に」

埼玉県 coming 年度の派遣の締め切りも終わり、もうすでに来期日墨生の卵が温まりつつあるのが、なんだかとても感慨深い。

埼玉県募集にどうしても間に合わなかった人は 1 月 31 日必切の外務省の募集も諦めないで欲しい。

今年は最低一日一投稿を目指している Instagram、引き続き質問承っています。お気軽にどうぞ。Instagram/@mio.ymmt.mex



おまけ：CEPE の図書館。Wi-fi は弱いけどコンセント付きで静かで、お金もかからず勉強には大変快適。

↑日本語の参考書も数冊だけ。A1~C2 と DELE と同じ基準でレベルが描かれている本が多い。文法練習問題集も。

←雑誌・新聞紙コーナー。結構種類豊富。